

## VOLAS「言語サポーター」リーフレットが完成しました

VOLAS 広報誌に続き、本学学生による「言語サポーター」の活動を一覧できる、リーフレットが完成しました。デザイン・作成ともに、本学学生(4年生)が関わってくれました。

オモテ面にはこの3年間の「言語サポーター」活動の紹介、ウラ面には活動レポートを掲載しています。VOLASの掲示板にも拡大して掲示してありますので、ぜひご覧ください！

### 東京外大生の “言語サポーター” 活動紹介

スポーツイベントや国際会議  
交流事業などで活躍する東京外大生！  
ただ言語を変換するだけでなく  
“想い”を伝えるサポート  
を目指しています

#### 東京マラソンEXPO 東京マラソン

主催：一般財団法人東京マラソン財団  
多言語対応ボランティアとして  
2015年は56名(のべ91名)が参加  
2016年も36名が参加予定

#### ウェイトリフティング・ マスターズ・ワールドカップ大会

主催：公益社団法人日本ウェイトリフティング協会  
リエゾン(通訳)ボランティアとして  
2016年4月に参加予定

#### EROPA東京(立川)総会

主催：総務省自治大学校  
アテンドボランティアとして  
2013年に多言語54名が参加

#### ESDユネスコ世界会議

主催：文部科学省国際統括  
ESDユネスコ世界会議準備室  
アテンドボランティアとして  
2014年に英語8名が参加

#### キネコ国際映画祭

旧キネダー・フィルム・フェスティバル  
主催：一般社団法人キネダー・フィルム  
通訳ボランティアとして  
2013年は英語2名  
2014・2015年は英語各1名が参加  
(すべて大学院通訳専修コースの院生)

#### アセアン加盟国中学生 招聘交流事業

主催：国立徳州高専青少年自然の家  
(文部科学省委託事業)  
アテンドボランティアとして  
2014年に英語3名が参加

#### 府中市友好都市交流事業

主催：府中市  
アテンドボランティアとして  
2013年はドイツ語4名  
2014年はドイツ語5名が参加

#### 東京国際 文芸フェスティバル

主催：公益財団法人日本財団  
セッション進行サポート等として  
2016年3月に参加予定  
(使用言語は英語)

活動に関するお問い合わせはこちらまで  
東京外国語大学ボランティア活動スペース VOLAS  
〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1  
東京外国語大学 研究講義棟206号室  
E-mail: [volas@bufs.ac.jp](mailto:volas@bufs.ac.jp)  
URL: [http://www.bufs.ac.jp/1109/21/0/commer\\_volas/](http://www.bufs.ac.jp/1109/21/0/commer_volas/)  
Facebook: <https://www.facebook.com/volas.bufo/>

東京外国語大学「言語サポーター」の活動は  
本学の学生にとって、大学の授業で得た知識を生かし  
現場での体験を通じて学ぶ機会になっています。  
なお、高度な通訳・翻訳能力を必要とする業務は  
お引き受けできません。通訳・翻訳の質を担保する  
ものではないことをご承知おきください。

## “言語サポーター”に 参加した学生の声

### \* EROPA東京(立川)総会

全国から100名超の学生が集まり  
各国要人が日本に滞在している際の  
接遇や会議運営等に携わった。

あらゆるスケジュール変更への臨機応変な対応や、切迫した場面での英語やインドネシア語を用いたコミュニケーションなど、難しいと感じたこともありました。国際会議の成功に微力ながらも貢献できたことは大きな喜びです。またこのボランティアを通じて、普段関わることのできない各国の要人や総務省の方々、他大学の学生とも交流を深めることができたのは、大変貴重で有意義な経験になりました。

外国語学部インドネシア語専攻 3年

### \* 府中市友好都市交流事業

ドイツ語通訳のボランティアとして  
府中市とウィーン市ヘルナルス区との  
友好都市交流に参加した。

留学中に培った語学力を活かす絶好のチャンスだと思い喜んで参加を決めました。当日は不安や緊張のために焦りもしましたが、府中市の皆さんがとても朗らかで、会を楽しんでいる様子が見えたため、気負いすぎることなく通訳に集中することができたと思います。もちろん通訳のみではなく、双方の参加者と自由におしゃべりを楽しむこともでき、通訳という仕事のおもしろさと難しさとに、以前に増して興味が湧きました。

外国語学部ドイツ語専攻 4年  
2013年に参加

### \* キネコ国際映画祭

調布市で毎夏開催されている映画祭。  
海外から招待している俳優や監督のアテンド通訳ボランティアを行なった。

映画祭では、監督から制作秘話を伺う機会もありました。特に印象深かったのは、お互いの言語を解さない監督と4歳の子役とのやりとりでした。監督が子役に指示を出す際には、当然のことながら通訳が必要になるのですが、監督は子役の女の子をリラックスさせ、子どもらしい自然な表情を撮影するため、通訳者にこのようなお願いをしたそうです。「自分の言葉だけではなく、動作や表情、声のトーンもまねてほしい」この注文に、初めは通訳者も戸惑ったようですが、撮影が終わる頃には子役と監督の良い機渡し役となったと言います。

### \* ESDユネスコ世界会議

事前の面接・研修を経て、都内から約200名の学生が集まった。学生1、2名につき参加国の代表団または国際機関のVIP1名を担当しスケジュール管理や案内等を英語で行った。

代表団であれ、ボランティア事務局の人や一般来場者であれ、相手が何を欲しているのかを聞き、自分ができることやしたいことをはっきり伝えることが必要だと思いました。特に文化や個人によって考え方が異なる人がたくさん集まっている場なので、自分を伝えることと、相手を理解することのどちらの大切さも実感しました。世界の一端に触れる貴重な経験にもなりました。

外国語学部ヒンディー語専攻 4年

私は一人で2団体計8名をエスコートしました。非常に慌ただしく至らない点もたくさんありましたが、最終日には両団体の方から「ありがとう。とても楽しかったよ」と喜んでもらえました。専攻しているフランス語でお礼を言っていただけは本当に嬉しかったです。

数多くの国から人が集まる国際会議でのボランティアは、大学で培った語学や異文化理解力を発揮できる場所です。また語学がいかに強力なツールであり、同時にツールに過ぎないことを肌で感じることもできる場だと思います。

言語文化学部フランス語専攻 2年

大学院総合国際学研究所  
国際コミュニケーション・通訳専攻コース 修士1年  
2014年に参加